



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社S I Gグループ 上場取引所 東
コード番号 4386 URL <https://www.sig-group.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）石川 純生
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 （氏名）八田 英伸 TEL 03-5213-4580
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,319	24.5	341	11.3	360	△1.3	206	4.5
2025年3月期中間期	4,273	24.6	306	67.3	365	149.7	198	206.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 206百万円（4.2%） 2025年3月期中間期 197百万円（223.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	36.32	36.10
2025年3月期中間期	34.96	34.75

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	5,852	2,610	44.6
2025年3月期	5,815	2,451	42.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,610百万円 2025年3月期 2,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2026年3月期	—	14.00			
2026年3月期（予想）			—	15.00	29.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	19.7	650	11.3	659	0.8	461	△4.1	81.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	5,935,140株	2025年3月期	5,933,220株
2026年3月期中間期	215,810株	2025年3月期	253,610株
2026年3月期中間期	5,696,450株	2025年3月期中間期	5,664,797株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3の「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げ等による所得環境の改善や円安・観光需要の回復を追い風とするインバウンド需要の拡大により、緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の通商政策等による企業収益の下押しや物価上昇による個人消費に弱さもみられ、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業においては、生成AI等の新たなデジタル技術が社会や生活の中に広まってきており、企業における業務効率化や生産性向上のニーズを背景に、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進やクラウドサービスの導入、生成AIなどの先進技術の活用に対する需要が引き続き高水準で推移しております。

このような環境の中、当社グループのシステム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の各分野において、人材の確保が難しい状況の中、受注が堅調であり、前期末に買収した子会社も増収に寄与した結果、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は5,319,308千円(前年同期比24.5%増)となりました。損益面では、子会社の増加による経費の増加、のれん償却額の増加や従業員の待遇改善による人件費の増加等により営業利益341,502千円(同11.3%増)となったものの、保険解約返戻金の減少や支払利息の増加により経常利益360,975千円(同1.3%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益206,868千円(同4.5%増)となりました。

なお、当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末の流動資産は3,790,222千円であり、前連結会計年度末に比べ62,317千円増加しました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が34,640千円、仕掛品が8,637千円、前払費用が15,492千円増加したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の固定資産は2,061,778千円であり、前連結会計年度末に比べ25,955千円減少しました。主な要因は、有形固定資産が10,585千円、投資有価証券が10,000千円、保険積立金が11,708千円、繰延税金資産が13,596千円増加した一方、のれんが68,234千円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末の流動負債は1,798,889千円であり、前連結会計年度末に比べ44,592千円減少しました。主な要因は、未払法人税等が16,697千円、賞与引当金が64,425千円増加した一方、買掛金が23,947千円、未払金が84,235千円、未払消費税等が12,983千円、役員賞与引当金が8,300千円減少したことによるものであります。

当中間連結会計期間末の固定負債は1,442,265千円であり、前連結会計年度末に比べ78,575千円減少しました。主な要因は、退職給付に係る負債が11,203千円増加した一方、長期借入金が85,716千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末の純資産は2,610,845千円であり、前連結会計年度末に比べ159,530千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が133,034千円増加した一方、自己株式が23,209千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.6%(前連結会計年度末は42.2%)となっております。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ297,913千円減少し、1,909,331千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は217,835千円（前年同期は164,962千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益360,975千円、減価償却費19,641千円、のれん償却額68,234千円、賞与引当金の増加64,425千円等があった一方、売上債権の増加34,640千円、仕入債務の減少23,947千円、法人税等の支払額148,527千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は354,079千円（前年同期は99,278千円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の増加300,000千円、有形固定資産の取得による支出29,933千円、投資有価証券の取得による支出10,000千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は161,669千円（前年同期は179,916千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出85,716千円、配当金の支払額73,834千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績につきましては、2025年5月13日付の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,207,245	2,209,331
受取手形、売掛金及び契約資産	1,438,366	1,473,006
商品	2,650	2,429
仕掛品	1,001	9,638
その他	78,641	95,816
流動資産合計	3,727,904	3,790,222
固定資産		
有形固定資産	131,813	142,398
無形固定資産		
のれん	985,296	917,061
その他	31,597	28,993
無形固定資産合計	1,016,893	946,054
投資その他の資産	939,026	973,324
固定資産合計	2,087,733	2,061,778
資産合計	5,815,638	5,852,001
負債の部		
流動負債		
買掛金	380,595	356,647
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	171,432	171,432
リース債務	2,007	1,656
未払法人税等	154,391	171,089
賞与引当金	192,519	256,945
役員賞与引当金	8,300	—
その他	634,236	541,118
流動負債合計	1,843,481	1,798,889
固定負債		
長期借入金	1,135,704	1,049,988
リース債務	1,821	1,139
退職給付に係る負債	340,294	351,497
その他	43,021	39,640
固定負債合計	1,520,841	1,442,265
負債合計	3,364,322	3,241,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,950	508,053
資本剰余金	368,904	372,815
利益剰余金	1,722,145	1,855,180
自己株式	△155,604	△132,395
株主資本合計	2,443,396	2,603,653
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	7,918	7,192
その他の包括利益累計額合計	7,918	7,192
純資産合計	2,451,315	2,610,845
負債純資産合計	5,815,638	5,852,001

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,273,623	5,319,308
売上原価	3,352,205	4,187,754
売上総利益	921,417	1,131,554
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	183,475	222,203
賞与及び賞与引当金繰入額	37,348	43,432
退職給付費用	3,789	3,284
その他	389,970	521,131
販売費及び一般管理費合計	614,583	790,051
営業利益	306,833	341,502
営業外収益		
受取利息及び配当金	115	2,017
保険解約返戻金	46,412	1,471
助成金収入	9,604	14,768
受取保険金	—	12,296
その他	7,954	687
営業外収益合計	64,087	31,242
営業外費用		
支払利息	3,876	10,346
支払手数料	1,153	1,156
その他	183	266
営業外費用合計	5,213	11,769
経常利益	365,707	360,975
特別損失		
減損損失	31,430	—
特別損失合計	31,430	—
税金等調整前中間純利益	334,276	360,975
法人税、住民税及び事業税	149,732	167,297
法人税等調整額	△13,498	△13,191
法人税等合計	136,233	154,106
中間純利益	198,043	206,868
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	198,043	206,868

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	198,043	206,868
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△212	△726
その他の包括利益合計	△212	△726
中間包括利益	197,830	206,142
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	197,830	206,142
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	334,276	360,975
減価償却費	25,651	19,641
のれん償却額	39,415	68,234
減損損失	31,430	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	56,262	64,425
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,027	10,071
受取利息及び受取配当金	△115	△2,017
支払利息	3,876	10,346
支払手数料	1,153	1,156
保険解約返戻金	△46,412	△1,471
売上債権の増減額 (△は増加)	△92,176	△34,640
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,432	△8,392
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,763	△23,947
その他	△146,096	△104,454
小計	228,626	359,928
利息及び配当金の受取額	114	1,904
利息の支払額	△3,943	△10,292
法人税等の還付額	26,271	52
法人税等の支払額	△95,711	△148,527
その他	9,604	14,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,962	217,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	40,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△19,604	△29,933
無形固定資産の取得による支出	△4,434	△2,570
敷金及び保証金の差入による支出	△21,645	△1,728
保険積立金の解約による収入	118,630	3,809
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
その他	△13,667	△13,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	99,278	△354,079
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△146,864	△85,716
配当金の支払額	△39,605	△73,834
その他	6,553	△2,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,916	△161,669
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	84,325	△297,913
現金及び現金同等物の期首残高	1,769,627	2,207,245
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,853,953	1,909,331

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約及び貸出コミットメントライン契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越極度額及び 貸出コミットメントラインの総額	1,000,000千円	1,000,000千円
借入実行残高	300,000	300,000
差引額	700,000	700,000

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	1,853,953千円	2,209,331千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	△300,000
現金及び現金同等物	1,853,953	1,909,331

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、システム開発及びインフラ・セキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。